

各 位

2025年9月25日

会社名 河西工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 社長役員 古川 幸二
(コード：7256 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 専務役員 小川 耕一
(TEL：0467-75-1125)

2025年3月期有価証券報告書提出遅延及び 当社株式の監理銘柄（確認中）の指定の見込みに関するお知らせ

当社は、2025年3月期有価証券報告書に関し、延長承認後の提出期限である2025年9月26日までに提出できない見込みとなりました。つきましては、当社株式の監理銘柄（確認中）指定の見込み及び2025年3月期有価証券報告書の提出見通しについて、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 提出が遅延するに至った経緯

当社は、連結子会社であるKASAI MEXICANA S. A. DE C. V.（以下「KMEX」）において2023年3月期及び2024年3月期に財務報告に係る内部統制に開示すべき重要な不備があるとの開示を行っており、2023年3月期以降、KMEXの管理態勢の再構築及び内部統制上の課題解決に向けた取組みを続けており、2025年3月期も、外部専門家のサポートを受け内部統制の強化を進めておりました。

このような中、2024年10月に入り、KMEXにおいて勘定科目ごとの総勘定元帳と補助簿の残高突合作業の中で、買掛金などの勘定科目につき、総勘定元帳と補助簿の残高に相違があることが確認され、KMEX内での調査の結果、勘定科目残高に誤りがあることが判明しました。また新たに開始した四半期毎の会計帳簿と税務申告書の突合作業において、過去のVAT（付加価値税）勘定の残高においても誤りがあることが判明しました。

2024年12月にKMEXより本件の報告を受けた後、当社は、当社及び当社グループの経理人員を追加投入し、また、社内外の専門家（IT専門家、会計専門家）のサポートも受けながら、調査・実態解明にあたってまいりました。これらの事象は、KMEXでの2022年の基幹システム移行時に、システム運用や会計情報の移行等、十分な事前準備が行われなかったことに起因しており、その結果、調査・検証作業は、極めて多岐に渡る大量のデータの分析や、要件に見合ったデータを過不足無く抽出、紐づけ、突き合わせることに、多大な時間を要することとなりました。

かかる状況下、2025年3月期有価証券報告書の提出期限延長申請を行い、延長後の期限内提出に努めてまいりましたが、今回、当社が作成した連結財務諸表関連データの一部にデータの二重計上や計上誤り等があることが判明し、改めてデータを補正・検証の上、連結データとして取り込む等、過年度を含めた作業の手戻りが避けられない見込みとなりました。そのため、2025年3月期有価証券報告書について、延長承認を受けました提出期限である2025年9月26日までに提出することが困難となりました。

2. 監理銘柄（確認中）への指定見込みについて

上記のとおり、当社は、2025年3月期有価証券報告書について、延長承認を受けました提出期限である2025年9月26日までに提出できない見込みとなりました。株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）の定める有価証券上場規程施行規則第604条第10号aの規定により、延長後の法定提出期限までに当該有価証券報告書を提出できる見込みのない旨の開示を行ったため、当社株式は、本日付けで監理銘柄（確認中）に指定される見込みです。

3. 今後の見通し

東京証券取引所の上場廃止基準では、延長承認後の提出期限（2025年9月26日）の経過後8営業日以内（2025年10月8日まで）に当該有価証券報告書の提出ができなかった場合、当社株式は整理銘柄に指定された後、上場廃止ということになっておりますが、今回の遅延は、不正や調査確認を要する事項の発覚ということではなく、集計過程におけるシステム上、作業上の瑕疵により、過年度を含めた作業に多くの時間を要することとなったものであり、現時点では10月8日までの提出には間に合うと見込んでおります。

なお、提出の日程目途が立ったところで、改めてお知らせいたします。株主、投資家の皆様をはじめとする関係者の皆様には、多大なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

以 上